

新山協ニュース

会長 藤井 信
 新潟県山岳協会
 長岡市学校町3-11-7
 TEL 0258-32-4835

事務局 杉本 敏
 長岡市大積町2-乙735甲
 TEL 0258-47-0368

編集者 遠藤家之進正和
 上越市本城5-4-102
 TEL 0255-26-9986

新年を迎えて

副会長 土田 幸雄



明けましておめでとございます。

二十一世紀まであと二年、二十世紀の終わりに秒読み間近かとなってまいりました。

戦後最悪と言われる経済不況下での新年ですが、山岳界では通例となっている年末年始の大きな遭難もなく、久方ぶりに穏やかな新年を迎えたというところであります。

昨年一月は、坂口日山協会長はじめ各都県の山岳団体代表者、新潟県や体協関係者、それに中国、韓国の山岳関係者をお招きして、新潟県山岳協会創立五十周年を締めくくる記念式典を盛大に開催することができました。

これは協会加盟40団体、130人参加という熱意に押されての成功であります。改めて感謝申し上げます。また、当日発刊の運びとな

りました『創立五十周年記念誌』も、お陰様で500部の印刷が残部僅少となりました。

ただ、この記念誌編集委員長を務められた鈴木敏雄前会長が6月6日に逝去されたことが痛恨の極みであります。

鈴木さんは、この記念誌の取り纏めにあたり、協会の創立年月日が

・昭和22年5月28日（越後山岳第1号 23・2・5刊）

・昭和22年6月28日（新潟県登山史概観 新潟県体育史資料 36・9・10刊）

と、二つの公表文献が1か月違っていることを古い日本山岳会会報や、岳界の大先輩、高頭仁兵衛さんの年譜等で詳細に検証されて、『昭和22年6月28日』と結論付けられました。

このことを含め、編集経緯の詳細は、新山協ニュース第129号に鈴木さんが詳しく記述されておられます。

この記念誌は、文字どおりの編集に全精魂を傾けられた鈴木さんの遺書のような気がしてなりません。心からご冥福をお祈りいたします。

次に、昨年7月24日から26日にかけて、第19回北信越国体山岳競技が糸魚川市で開催されました。

三条高校が少年男子総合で1位となって、神奈川県国体に出場し活躍しました。

この北信越国体開催にあたり、4月下旬の県予選会を含め、地元の糸魚川市山岳連盟と糸魚川市、地元町内会等から絶大な協力をいただき、お陰様で盛況裡に終了しましたことに、改めて感謝申し上げます。

特に、糸魚川市山岳連盟の皆様が、この行事のために早春からコースの伐開・道刈りやコース整備など、休日を返上しての地道なご尽力には頭が下がる思いです。

『豊かな自然の恵みを大切ににし、一步一步的に向かつてあゆむ糸魚川市山岳連盟がますますこの地に根を張り葉を繁らせて行けるよう』と、糸魚川市山岳連盟20周年記念誌編集後記にあります。

そのとおり活躍ぶりに敬意を表しますとともに、益々の発展を祈念いたします。

近年、色々な分野でモラルの欠如ということが言われております。山の関係でも、富士山をきれいにする運動資金として、

地元自治体が、富士山という名のつく企業から賛助金を集めたいと報じられています。

日本山岳会では、昨秋「高山植物の保護と盗掘防止を考える」シンポジウムを開催しました。

それもこれも、山を汚し、花泥棒がいる故でしょうが、山と緑のない人は、山登りをする人間はモラルに欠けていると思うかも知れません。

しかし、自分の回りでゴミを散らかし、高山植物を盗むような人が果たしているでしょうか。答はノーです。

県山協は古くから『安全登山・公德登山』をモットーとして活動してきました。

登山道や山頂など、山は確実にはきれいなようになってきているのではないのでしょうか。

山を汚すのは心ない人達、高山植物を盗掘するのは、花を愛でず、それを金にしようというさもない、最低人間の仕業であります。

近年、中高年を中心に登山人口は激増しております。山の遭難防止と自然保護のため、責任ある山岳団体としてたゆみない努力が必要です。年頭に当たり、加盟団体の更なる発展と、会員のご健勝を祈念いたします。

中高年安全登山指導者講習会

(中部地区)の報告

ゆきみ山の会

須田秋子

表題について静岡県富士宮市 県立富士山麓山の村に於いて、文部省、(株)日本山岳協会、静岡県教育委員会、静岡山岳連盟の主催で、9月9日より11日迄催されたので概略を報告いたします。

受講者15府県から24名、女性3名(新潟県からは1名)講師9名、同支援4名、主催側5名。

9月9日13時半開講式、文登研所長 柳沢氏、日山協常務理事 荒木氏、県教委室長 山口氏より挨拶、続いて県岳連会長 田中氏、県立富士山麓山の村所長 太田氏より歓迎の言葉があり、引続いて講習会へ移りました。14時過ぎ「中高年登山者の諸問題」として、静岡山岳連副会長 鈴木氏より

安全で楽しい登山を目的とした中高年登山の会を結成し、座学と実技での講習を継続的に実行し、長い年月をかけてリーダーを養成してきた。こうした経験の中から問題点を

考えてみると、座学と実山行の結びつきが弱い。頭の中に知識としてあっても登山行動の中に活かされていない。系統的でなくとも実技の中で繰り返し研修し実践している。また、リーダーについては、安全登山の普及にはリーダー養成が欠かせない。だが、多くの経験の積み重ねの上にならたつもので一朝一夕には育たない。最近の遭難事故で、法的責任を問われる事例が出てきている。そうした中で、

まず優秀なリーダー養成が急務ではないだろうか。各県においてリーダー研修会と称して、実技を含め系統的に講習会をしてはどうか。

15時半より「中高年登山者のための登山医学」として田辺整形外科医院長 田辺氏より登山医学を考える上で、平地と山の自然現象(雨、風、気温、気圧、紫外線等)を比較をしてみるとかなり差が出てくる。特にその中で、気圧が低い事が原因で出てくる急

性高山病。頭痛、不眠、食欲不振等は鎮痛剤、睡眠剤(短時間分)等で休養を取らせる。もしも、重症(心肺系)なら下山させ医師の診断を受ける等、山で気をつけなければならぬ諸事項について説明。次に実技講習、捻挫の予防と事故後のテーピングの指導がありました。

9月10日8時、実技「佐折」天子ヶ岳「長者ヶ岳」田貫湖「県岳連副会長 鈴木氏より、ワンポイントレッスンとして、山で捻挫した場合の応急処置方法(靴の上からシューリングで固定する方法)そしてツェルトをストックを使って張る方法の指導がありました。その後、田貫湖の自然について富士宮自然観察の会の仁藤氏、山田氏より地質、山野草等の説明を受ける。天子ヶ岳にて県岳連理事長 木ノ内氏、副理事長 塩沢氏より地形図の見方(高度計、コンパス)登山路断面図について説明を受け田貫湖へと向かう。15時半下山。16時半「最近の県内の遭難事故について」県警山岳救助隊長 石井氏より登山人口の増加と共に遭難事故件数も増加しており、中高年者の比率が高くなっている。また、単独登山者の死亡率も

高い、なんでもない登山道での転倒、転落、無理な計画による疲労が原因ではないか、との指摘がありました。そうした中で、登山の基本となる登山計画書を作成、提出し、登山者カードは正確に記入し、変更する場合は誰かに告げる等、指導がありました。

審判員研修会開催

平成10年度北信越ブロック 国体山岳協議の審判・運営にあたる審判員の養成と資質の向上を図るために研修会が開催されます。

1、期日 平成11年2月20日(土)～21日(日)

2、会場 石川県鹿島郡田鶴浜町田鶴浜二二〇

3、研修内容

- ・一般登山と山岳競技について
- ・団体における山岳競技の歴史
- ・山岳競技規則改定の概要について

4、参加費 12,000円
5、締切 平成11年1月23日(土) 協会申込

参加希望者は国体委員長の森までに詳細を照会してください。

〒940-1240

三島郡与板町与板241

森 庄一

TEL・FAX

0258-2710

行事案内

また体力が技術のカバーもある等、いろいろな意見が出ました。

11時半 閉講式 修了証授与 解散

平成10年度北信越ブロック

J A R E 39
O D A

南極に来て早一年になろうとしていきます。各山岳会の皆さん方におかれましてはお変わりなくご活躍のこととぞんじます。

南極の自然の美しさに気を取られ、あっという間に月日が過ぎてしまいました。

天空を舞うオーロラ、果てしない白い大地、厳しい自然の中で生きる動物達、どれをとっても感動の毎日です。

このすばらしいチャンスを与えて下さいました方々、そして支援してくださいました多くの仲間へ感謝の気持ちで一杯です。

帰国の際にはこの感動をぜひ皆さんにお伝えしようと毎日撮影に奔走しています。

オーロラの撮影にも成功していただきますので期待してください。

先日は昭和基地から百キロメートル離れた日七十二と言う所にピックアップ隊として出発したのです。

途中ブリザード（地吹雪）に遭い、五日間も雪上車に缶詰状態でした。全く周囲が見

えず、雪上車の室内は狭く決して快適な生活とは言えませんが、それなりに南極を感じ大陸のブリザードを楽しんでいます。

今月に入ってからと言うものの三回も同じ経験をしており、どうもブリザードとは相性がよいようで夜は雪上車のエンジン止めますので、車内でもマイナス二十度まで下がりますが、シュラフに入れば快眠できます。

今までの基地付近での最低気温はマイナス三十九度ですが、肌の露出部分は凍傷になります。これからも、野外調査活動が多く予定されており、楽しみにしております。

極夜もおわり、日の出は五時半、日没が七時頃と日にひに長くなっております。様々な経験ができることをきたいしております。

それでは、皆様方もご健康でご活躍ください。

98、9、27

南極昭和基地にて

小田 幸男

カムチャッカの高山植物 ⑰

むささび会 加藤 明文

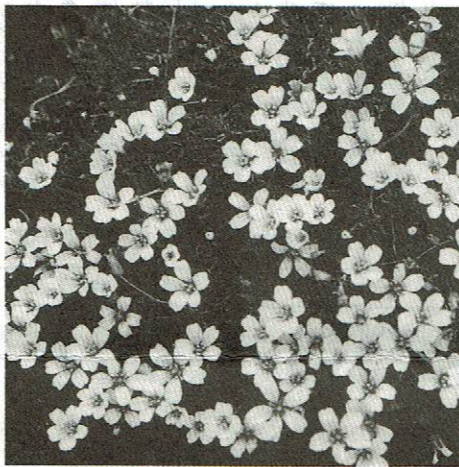
エゾタカネツメクサ(ナデシコ科)

分布：日本 シベリア

日本の中部地方の高山に産するタカネツメクサ（日本固有種）のお母さんで、よりも大きなエゾタカネツメクサ（故郷はシベリア）がある。大雪山、夕張岳、日高山脈に産するが、現品はそれより大きく礼文岳のレブントカネツメクサ位の大きくなる（レブンは花卉の型がちがう）大きい事はいいことで国産では小さいために花の中がわかりにくいですが、ここでは黄色い雄しべの一本一本が良くわかりなにか得をした感になる。

マットを広げたように一面に咲くその性格は日本産とまったく同じである。モータイルチョルダック附近の礫地にて。

花の色：白



平成10年度

山岳スキー講習会開催

1、期日 平成11年2月18日

(休) 22日(月) 5日間

2、会場 文部省登山研修所

3、募集人員 25名

4、応募資格

年令50才未満でスキー技術を有し、山岳会会

長の推薦する者。

5、講習内容

・積雪と雪崩について

・雪崩について埋没者の捜索、救助及び搬送

・雪崩埋没者に対する救急処置

・歩行技術

・山岳スキー技術

・生活技術

・緊急時対策

・山岳スキー技術について

・冬山の食糧・装備について

6、申込 平成11年1月25日(月)

協会申込

参加希望者は事務局に詳細を照会してください。

参加希望者は事務局に詳細を照会してください。



「至仏山」

98中高年登山教室実施報告①

中高年登山委員長

坂井 厚

新潟県山岳協会主催、中高年登山委員会主管「中高年登山教室」を至仏山(2,228メートル)で、7月4日から5日までの2日間実施しましたので報告します。

始めに

少子高齢化が一段と進み、登山でみる何処の山も中高年の人達で賑わっている。グループ・夫婦・単独等多様です。それに伴って登山事故も殆どが中高年です。責任団体として少ない陣容で、年1回ですが未組織一般登山者に対して事故防止の啓蒙をと、登山教室を実施して8年目となりました。

実施まで

これまで実施した内容では地図(地形図)に対する見方の不足がみられ、その教室を設けることとし、新潟の出発時間を速めること、時期も7

月に繰り上げ、至仏山と決定した。

新潟県教育委員会、財団法人新潟県体育協会、新潟県長寿社会振興財団、新潟県公民館連合会、新潟市教育委員会及び財団法人新潟市体育協会からそれぞれ後援を得ました。

広報はロコミ・ポスターの運動具店掲示・5月3日(日)の「市報にいがた」・新潟日報5月8日(金)の新聞掲載で広報に努めたところ、申し込み者多数となり断りきれず18名増しと枠を拡げました。

6月17日役員打合せ、尾瀬の至仏山ということで申し込み者が多数となり班員が多くなった。女性が多い。地図の勉強のため座学の時間を設けた。事前連絡でトレーニング等助言して下さい、とした。

コースについて

植生保護のため環境庁による制限地域であるが、昨年より期間を限って解除される。今年も6月27日より解除されたので計画どおりとした。

次回へ。



平成11年度2月専門委員会行事予定

日時	行事名	会場	担当
11. 2.14	日山協評議員会	東京	協会長
11. 2.20~21	北信越5県審判員研修会	石川県	国体
11. 2.20~21	日山協海外登山研究会	東京八王子市	海外登山
11. 2.20~21	冬山研修会(水雪技術)		指導技術
11. 2	全国山岳レスキュー講習会(冬山)		遭難対策

日山協・文部省登山研修所等2月行事予定

日時	行事名	会場	担当
11. 2.14	日山協評議員会	東京	日山協
11. 2.20~21	日山協海外登山研究会	東京八王子市	日山協

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)